



荒川クリーンエイド・ フォーラム

インターン生用
イベント運営マニュアル

※本マニュアルには荒川クリーンエイドの現場活動を行うにあたって
基本的な必要事項について記載しています。
活動規模や現場の状況によって作業内容が異なってくるので
必ず事務局スタッフに確認をしましょう

荒川クリーンエイド・フォーラム

–インターン生向け イベントマニュアル–

目次

1. 荒川クリーンエイドの概要・・・P3

1-1 荒川クリーンエイドとは・・・P3

1-2 全体のタイムライン・・・P3

2. 具体的な進め方・・・P4

2-1 イベント会場設営について・・・P4

2-2 ごみ拾い活動の運営について・・・P12

2-3 撤収作業について・・・P13

3. こんなときどうする!?・・・P17

Q1 運営側で忘れ物が発生！

Q2 ケガ人が発生！



1. 荒川クリーンエイドの概要

1-1 荒川クリーンエイドとは

荒川クリーンエイドとは **荒川で行うごみ拾い清掃ボランティア活動**のことで、毎年約100会場、1万人以上の参加者を動員して行われています。

荒川クリーンエイド・フォーラムはこの活動の事務局として **実施団体・参加者の支援**を行なっています。

本イベントの大きな特徴として、荒川クリーンエイドは“**調べるごみ拾い**”を行うことで参加者にごみ問題への気づきをもたらし、**環境保全意識の向上**を目指しています。

1-2 全体のタイムライン

イベント会場設営→開会→**ごみ拾い活動**→ごみの分別、振り返り→閉会→**撤収作業**

※本マニュアルでは**太文字**で色付けされた部分について記述されています。



2. 具体的な進め方

2-1 イベント会場設営について

イベント会場設営時に必要なものは以下の**6点**
(原則。場合によっては不要な項目もある。)

- ①(会場の目印となる)のぼり旗3-4枚+それに併うのぼり棒
- ②テント
- ③テーブル×2
- ④マイクとスピーカー(メガホン)
- ⑤トング
- ⑥ゴミ袋(開催会場によって分別する数変動します。)+用具が入った箱×2

それぞれに関して準備方法を解説していきます。

①のぼり旗(開催場所を参加者に知らせます)



- i. のぼり棒の頭の蓋を外し、
中からのぼり旗の短い辺を支える棒を取り出します。
- ii. 左の写真のようにのぼり旗の辺の長さが長い部分についている5つのリングをのぼり棒に通します。

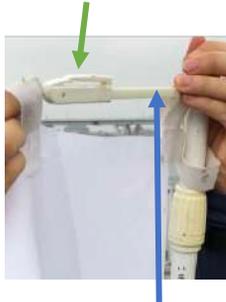
のぼり旗

のぼり棒



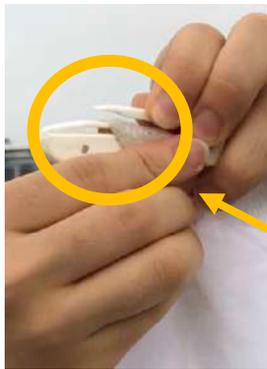
- iii. 支柱の頭を緩めてから、
のぼり旗の短い辺を吊るすための棒をのぼり棒の
上部に半分ほど挿して、支柱の頭を締めます。

旗の留め具



短い辺を吊るす棒

- iv. 短辺を吊るす棒の
旗の留め具が付いている側に、
のぼり旗の横の辺についている3つのリングを通します。



端のリングを固定

- v. 最も留め具寄りについているリングを
留め具を開いて中に入れます。

- vi. のぼり棒の長さをのぼり旗に合わせて調節します。



のぼり
完成

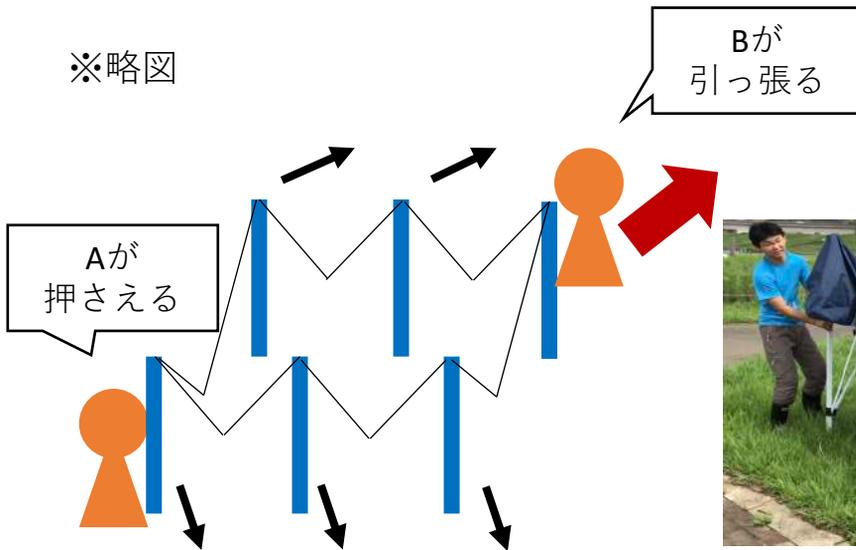
②テント(用具を置いたり、参加者のための日陰作り)

袋から取り出す～テントの足を広げる(横方向の拡大)



- I. 二人で作業します。(便宜上、作業員をそれぞれA,Bとする)
まずテント本体を袋から取り出し直立させます。
- ii. テントには合計6つの支柱があるが4点の長方形と捉えて、
Aが1点の頂点をおさえます。

※略図



- iii. BはAが抑えている間にまず残りの3点を広げていき、
ある程度広がったら真ん中の2点も広げていきます。

テントの足を広げた後～テントの幌を広げる(縦方向の拡大)



↑の方向に引き上げる

- i. 6つの柱についている黒い部品を幌のついている方向にカチッと音がするまで引き上げます。



- ii. 6つの柱の脚の長さを調節
+テントの足に鉄のペグを打ち込みます。



柱の長さを調整

テント完成

③テーブル(様々な用具を配置します)

- i. テーブルは全部で2つ用意します。
まず2箇所の留め具をとって広げます。



- ii. 中にはめ込まれている4つの棒を取り出します。



- iii. 机の足を広げて、先ほどの4つの棒を
足先に矢印の方向ではめ込みます。



- iv. 机の足のつっぱりを真っ直ぐにします。

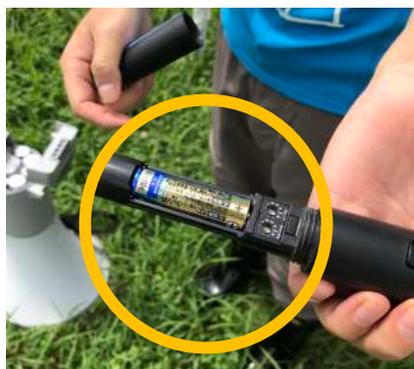
矢印の方向に押して固定

**テーブル
完成**

④ マイクとスピーカー(メガホン)



- i. スピーカー本体を袋から取り出します。(写真左上)
その際、マイクも袋の取手から外し、中身を取り出します。(写真右上)
- ii. 電池がそれぞれ一本ずつ外されているので、それぞれに付属の電池を補充します。



- iii. マイクとスピーカーの電源をONにして一度マイクテストをします。
- iv. テスト終了後はそれぞれの電源をOFFにして
マイクをスピーカーの上に置いておきます。

完成



⑤⑥トング・ごみ袋・用具箱

i. カラフルなトングをテントの側に配置します。



ii. ごみ袋をテーブルの上に配置します。

iii. 用具箱はテーブルの下に配置します。

iv. その他「マイボトル啓発の写真」「手洗い用のポリタンク」は以下の写真の通りに配置します。



手洗い用ポリタンク



ごみ袋



用具箱

マイボトル啓発の写真



完成

①～⑥の作業が終わったら…

イベント開催前に以下の3つを行います。

A) ビブスを着用する。(あらくりくんが描いてある方が前)

B) カマを持ってごみ拾い開催地の下見に行く。

(安全確認のため活動予定場所を下見します。

必要に応じてカマで木の枝やヨシを刈るなど

イベント参加者のケガ防止を行います。)

C) Before写真(ごみの様子の写真を撮ります。)



2-2 ごみ拾い活動の運営について

あなたは本イベントの運営側として活動するひとりですので、
以下の準備が必要です。

- ・外来種の除草作業をする際、その外来種を見分ける知識
- ・ごみの分別方法について参加者に聞かれることがあるので、
それに対する知識(Ex.乾電池はどのように分別するべきですか？→不燃ごみ)
- ・その日のスケジュールに関して聞かれることがあるので
事前にその日の流れを把握しておきましょう！
- ・イベントに関する記事(Facebook等)を作成するので
参加者の様子などを撮影しましょう！

これ以外にも参加者のために何ができるかみんなで考えてみましょう！



2-3 撤収作業について

イベント会場設営時に準備したものを片付けていきます。

やり方に関しては「**2-1 イベント設営について**」を逆の手順で行います。

以下の**4点**に関しては説明を加えます。

- ①テーブルの上の設置物
- ②マイクとスピーカー(メガホン)
- ③のぼり旗
- ④テントのたたみ方

①テーブルの上の設置物



- ・虫除けスプレー、啓発写真など→元あった場所に戻す。
- ・手洗い用のポリタンク→中の水を捨てる。

②マイクとスピーカー(メガホン)

- i. マイクとスピーカーをそれぞれのケースの中に入れてしまう。

※このとき電池の消耗、誤作動を防ぐため
マイクとスピーカーの電池は抜いておく。(スピーカーはひとつだけ抜く。)

- ii. 右のケースの場合、紐を結ぶ。



③のぼり



- i. 「2-1 イベント会場設営について のぼり」

にのっとり、逆の手順で片付けて行く。

- ii. のぼりの旗は小さくたたんで、工具箱の中にしまう。

④テントのたたみ方

- i. テントの足を一番低くなるまで下げる。
- ii. テントの足にさしているペグを外す。
- iii. 下の写真のように黒い部品についている金具を矢印の方向に引っ張ってテントの上部をたたむ。



矢印の方向に引っ張る

- iv. 写真のようにテントをひとつにまとめる。



まとめる



- v. 黒い袋にしまって車に乗せれば完了。



①～④まで終わったら…

片付けが終わったら2つの作業を行います。

A) 片付けたイベント設営道具を車に乗せる

※参考

積み方はイベントによって異なります。



B) 活動現場に忘れ物がないかの確認

C) Afterの写真を撮ります。(ごみ拾いボランティア後の写真を撮ります。)

3. こんなときどうする!?

Q1. 運営側で忘れ物が発生!

A1. スタッフが2名以上存在し、会場から事務所が近い場合、
急いで取りに帰ります!

(実際に、以前トングを忘れて取りに帰ったことがあります。)

Q2. ケガ人が発生

A2. 応急処置ができる程度であれば救急セットを用いて処置をし、
事務局スタッフに報告。

動かさない場合は救急車を呼び近くの病院へと搬送します。

スタッフの交代はきかないので

体調管理には十分に気をつけましょう。

そして万全な状態でイベントを成功させましょう!



さあ、やろう。

荒川のため。参加者のため。

